



古座川町立明神中学校 学校便り

さんざんかん



〒 649-4232 東牟婁郡古座川町一雨16

TEL : 0735-78-0346

<http://www.za.ztv.ne.jp/myojinchu/>

令和 8年 2月 2日発行 第12号

子どもと共に育つ

3学期に入り寒さが一層厳しくなり、雪がちらつく日が何日かあった1月も終わり、2月を迎えました。先月末には、3年生が義務教育最後の定期テスト期間となる学年末テストを終えました。また、1月には英語検定や漢字検定もあり、本年度のスローガンである「挑戦から遂行へ」の言葉通り、生徒たちが自分の目標に向かう姿を見ることができました。学校としては、結果よりも何度も同じ級や新たな級に挑戦することを高く評価しています。



さて、1月24日に和歌山県PTA研修会が白浜で開催されました。本年度は福岡県から南蔵院第23世住職の林覚乗氏をお招きし講演を聴きました。PTA研修会の趣旨に沿って、育友会会員の保護者や教職員に向けて様々な話をしてくださいました。

【一】自分もたないおひな様を友達に自慢され、泣いて帰った時、母親から教えられた豊かな心。母親が自分の娘にかけた、家にひな壇のおひな様はないけれど、こんなかわいい3人のおひな様がいる、という言葉が子どもたちの心を豊かにしました。

【二】嫌な印象しか持てなかった生徒の内情を知り、母親のように向き合い、寄り添った教師。勉強に向き合わなくなった生徒が、先生の補習を受けるようになり、自分を認めてくれる人の存在が自分を鼓舞するきっかけとなりました。その後、目標とした医師となり、結婚式にはその先生に母親の席に座ってほしいと言いました。

【三】両親からの愛情が詰まった通帳を結婚前に渡され涙した女性。結婚前に自分の生い立ちを婚約者に話した花嫁。挨拶の時に、両親が少しずつ貯めた貯金通帳を見て、婚約者はその両親の大変な苦勞と愛情を知りました。この通帳を我が家の家宝にしたいと言いました。

私たちは、子育ては子どもを育てているという感覚になりがちです。しかし、今回の講演を聴きながら、子育てをしながら、親としても子どもと共に育っているのだと改めて感じました。親の気持ちや言動が子どもたちの成長に大きく関わること、一緒に楽しい思いやつらい思いをしながら周りに感謝する気持ちが育つことなど、目頭が何度も熱くなり、感動の余韻に浸りながら帰路についた研修会でした。

2月 行事予定

- 1日(日) 書き初め展示会(太地公民館)
- 2日(月) 入学説明会
- 8日(日) 県ジュニア駅伝大会(和歌山市)
- 12日(木) 卒業進級遠足(田辺・白浜方面)
- 13日(金) 玉川大学出前授業 三送会
- 19日(木) 3年生三者面談(~20日)希望者のみ
- 25日(水) 県立高校本出願
カイロス打ち上げ見学(田原)
- 27日(金) 学校運営協議会
- 3月
- 3日(火) 卒業式予行
- 6日(金) 卒業式

グランドゴルフ交流会

毎年恒例となっている「若鮎会」と地域の皆さんと一緒にグランドゴルフを楽しみました。生徒達もプレーには慣れて、今年こそは地域の方々に勝ちたい!という思いを持って臨みました。中にはホールインワンを見せる生徒も。チーム内では声を掛け合いながら、お互いを励まし合いながら交流しました。生徒の皆さんの上達は見られましたが、まだまだ地域の方にはかないませんでした。



グラウンドゴルフが終わってからは、婦人会の方からぜんざいをふるまっていただきました。寒い中プレーした後、のぜんざいは格別で、おかわりをごちそうになった生徒もいました。身も心もほっこり!生徒からは地域の方々にお礼の気持ちを込めて、明神中学校愛唱歌を歌いました。一緒に口ずさんでくださる方もいらっしや、温かい雰囲気の中交流会が終わりました。

2年生理科研究授業

1月22日、2年生理科(太地教諭)の研究授業を行いました。本時では「静電気の性質」について、実験を交えながら学習しました。実際に静電気が放電する様子も見られ、静電気の状態や性質を直接学ぶことができました。県および町教育委員会の指導主事も来訪し、今後の授業づくりについて指導・助言をいただきました。

